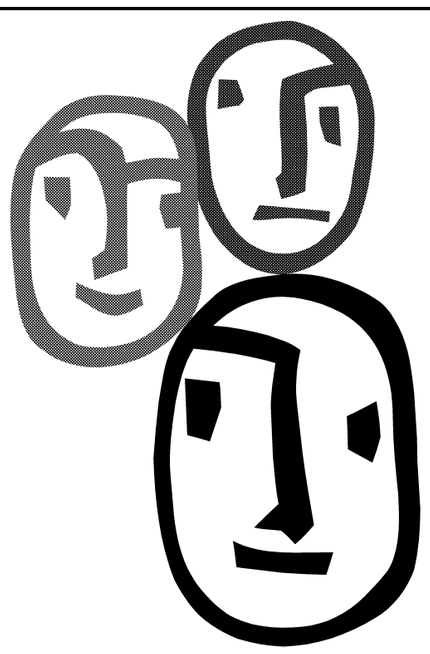


いのちのカガクで、
世界の人とつながりたい。

わたしたちが創っているもの。それは、いのちを守るものです。健康文化創造企業・富山化学の新薬は、研究開発力と生産技術力の結晶。一人ひとりの力を積み重ねて、世界中の数え切れないいのちを支えてきました。これからも、革新的な新薬を創り続けたい。そして、それを一日も早く、医療の現場に届けたい。だから、わたしたちは進化し続けます。世界中のいのちが、わたしたちの生み出す新薬を待っているかぎり。

コルベンからいのちが見える
富山化学
FUJIFILM　FUJIFILMグループ

「コルベン」とは、ドイツ語で三角フラスコのこと。当社のシンボルマークです。

gsk GlaxoSmithKline
生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer

グラクソ・スミスクラインは、研究に基盤を置く世界をリードする製薬企業です。中枢神経領域、呼吸器領域、ウイルス感染症、がん治療領域などの医療用医薬品やワクチン、「コンタック」「アクアフレッシュ」などのコンシューマーヘルスケア製品を通じて、人々がより充実して心身ともに健康で長生きできるよう、生活の質の向上に全力を尽くすことを企業使命としています。

グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル
http://glaxosmithkline.co.jp

製薬会社は、
幸せな未来を
描けているだろうか?

MSDは、医薬品やワクチンの提供を通じて、日本の、そして世界の医療ニーズにお応えしています。そこで思い描いているのは、皆さまのすこやかな未来。薬の力を未来の力につなげるために。これからもMSDは、時代を切りひらく革新性と科学への揺るぎない信念で、画期的な新薬やワクチンの開発に取り組んでいきます。

新薬で、未来をひらく。
MSD

MSD株式会社
東京都千代田区九段北一丁目13番12号 北の丸スクエア　www.msd.co.jp

注目される医薬品

がん

抗がん剤
海外展開を積極化

がんは、日本人の死因の1位（厚生労働省調べ）。治療の難しい症状も多く、製薬各社はアンメットメディカルニーズが高い領域と見なして開発に力を入れている。

エーザイは抗がん剤「ハラヴェン」（一般名エリブリンメシル酸塩）の海外展開を積極化している。14年4月末時点で承認取得国数は53。さらに14年度中に、メキシコやブラジルなど15カ国での上市を計画している。13年度に289億円だった同剤のグローバル売上高を、15年度には430億円程度に引き上げる。

同社はハラヴェンの市販後調査結果をタブレット端末（携帯型情報端末）で検索・閲覧できる仕組み「セーフティーナビ」の運用も始めた。医療従事者の求めがあった際、自社の医薬情報担当者（MR）が副作用発生状況といった実臨床データを的確に提供しやすくなる。一般的に抗がん剤は白血球減少などの副作用発生状況が患者によって大きくバラつく傾向があるとされ、医師は患者の状態に応じて投与の是非や投与量を慎重に判断する必要がある。エーザイはそうした注意を要する薬の安全性情報提供体制を強化したい考え。

中外製薬も、がん領域での事業展開に注力している。14年4月に抗がん剤「カドサイラ」（一般名トラスツズマブエムタンシン）を発売した。乳がん細胞を増殖させると考えられているたんぱく質のHER2（ハーツー）の働きを阻害するとともに、がん細胞を破壊する。同社は乳がん治療剤として「パージェタ」（一般名ペルツズマブ）や「アバスチン」（一般名ベバシズマブ）なども持つ。幅広い品ぞろえにより、患者の症状や状態に応じたきめ細かい治療の実現を目指している。

医療用漢方製剤

古代中国の医学が5―6世紀以降に日本へ伝わり、1400年以上の年月をかけて国内で独自に発展した漢方医学。西洋薬での治療が難しい症例で有効な場合があり、漢方薬の科学的な解明も進みつつある。メーカーの活動も力が入っている。

エビデンス構築進む
地道な啓発活動が奏功

需要増加に対応

かつて漢方製剤は効能にエビデンス（科学的根拠）がないとされ、医療用漢方薬の処方に消極的な医師もいた。しかし日本漢方生薬製剤協会が2011年に実施した「漢方薬処方実態調査」によると、89%の医師が漢方製剤を処方していると回答。08年の調査時に比べ5・5%増加している。処方理由は西洋薬では効果のない症例で漢方が有効という見解が56・6%。エビデンスが学会などで報告されているからといった見解も34・1%に達した。漢方への理解は着実に進んでいると言える。

この背景には漢方薬メーカーの地道な啓発活動もあった。医療用漢方製剤でトップシェアのツムラは、効能と安全性のエビデンス確立を図る「育薬」活動に取り組んでいる。129ある同社の処方の中から「大建中湯（だいけんちゅうとう）」など五つを育薬処方と定め、エビデンス構築に向けた基礎・臨床研究を推進中だ。

医師支援活動の例では、女性専門外来担当医師を対象としたセミナーも展開している。漢方製剤は女性特有の疾患にもきめ細かく対応できるという側面があるため、診療体制の充実につながることが期待される。

同社は漢方の認知度向上に伴う需要増加をにらみ、安定供給へ向けた取り組みも加速させている。現在、生薬の栽培・調達・加工・保管拠点である夕張ツムラ（北海道夕張市）の拡張工事が進行中。約18億円を投じて15年7月までに新棟を建設し、生薬保管能力を現行比約2倍の2000トンに増やす計画だ。

栽培や調整加工の技術開発を強化するとともに、検品の自動化による品質向上や効率化も見込んでいる。

医療用漢方製剤の安定供給をにらみ、生薬調達拠点の拡充が進みつつある
（夕張ツムラ拡張工事後の完成予想図）

製薬産業

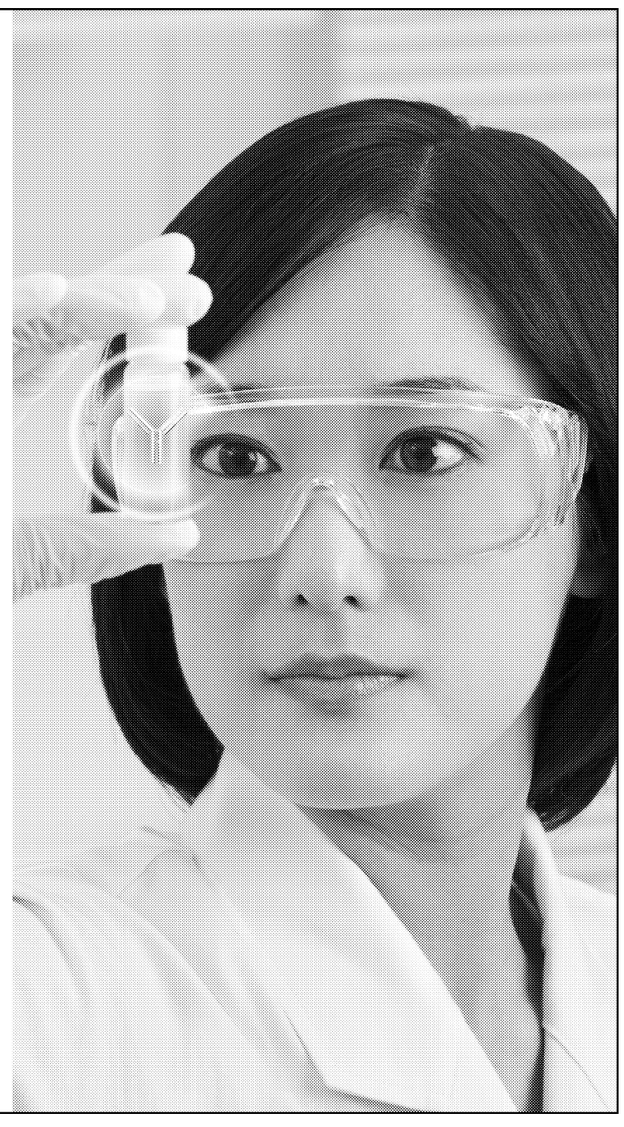
視線は、いのちへ。

病を治したい。いのちを救いたい。
私たち協和発酵キリンは、
抗体医薬のリーディング・カンパニーとして、
真摯に研鑽を積み重ねています。
一分でも一秒でも早く、
世界が待ち望む新薬をお届けするために。

グローバル・スペシャリティファーマ。
抗体医薬をリードする、協和発酵キリンです。

KYOWA KIRIN

協和発酵キリン株式会社
http://www.kyowa-kirin.co.jp



© Elie Bernager / Stone / Getty Image

サノフィは、グローバルに多角的事業を展開するヘルスケアリーダーとして
患者さんのニーズにフォーカスしています。

サノフィ株式会社
〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー　www.sanofi.co.jp

SANOFI